

ダンシングねずみのつくり方

★★★★★

20分

準備リスト

- はさみ
- のり
- クリップ4つ
- 色えんぴつ (オリジナルで作る場合)
- うちわ

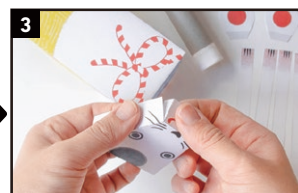
つくり方



せん線にそってハサミでパーツを切ります。



てんせん点線をすべて山折ります。



のりしろにのりをつけ、あたまとからだのパーツをくみ立てます。



耳はあたまからだのあいだにはさむように、しっぽはからだのうしろ側にはります。



からだの内側にのりであしのパーツをはります。



足の先にクリップをはさめばできあがりです。



オリジナルのずぼんぼはあしとしっぽをすきなながさでつくってみましょう。



クリップではなくしじみを足にまきつけて江戸のおもちゃを再現してもたのしいですよ。

Follow me!

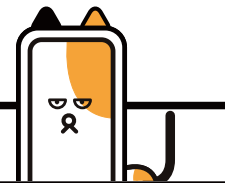


SNSでも情報配信中!



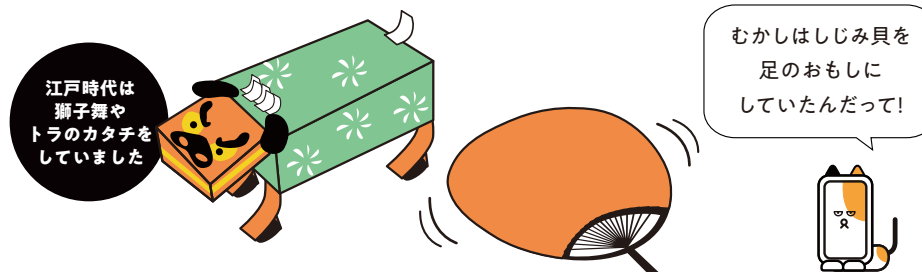
おし教えて！ミッケ！

ダンシングねずみのひみつ



江戸時代のおもちゃずぼんぼ

江戸時代に浅草で生まれ、約230年もつづくおもちゃ「ずぼんぼ」。うちわであおぐと、からだを浮きあがらせてフワフワとうごきます。「ずぼんぼ」というなまえはお正月の獅子舞をおどらせるときのかけ声からなづけられたといわれています。



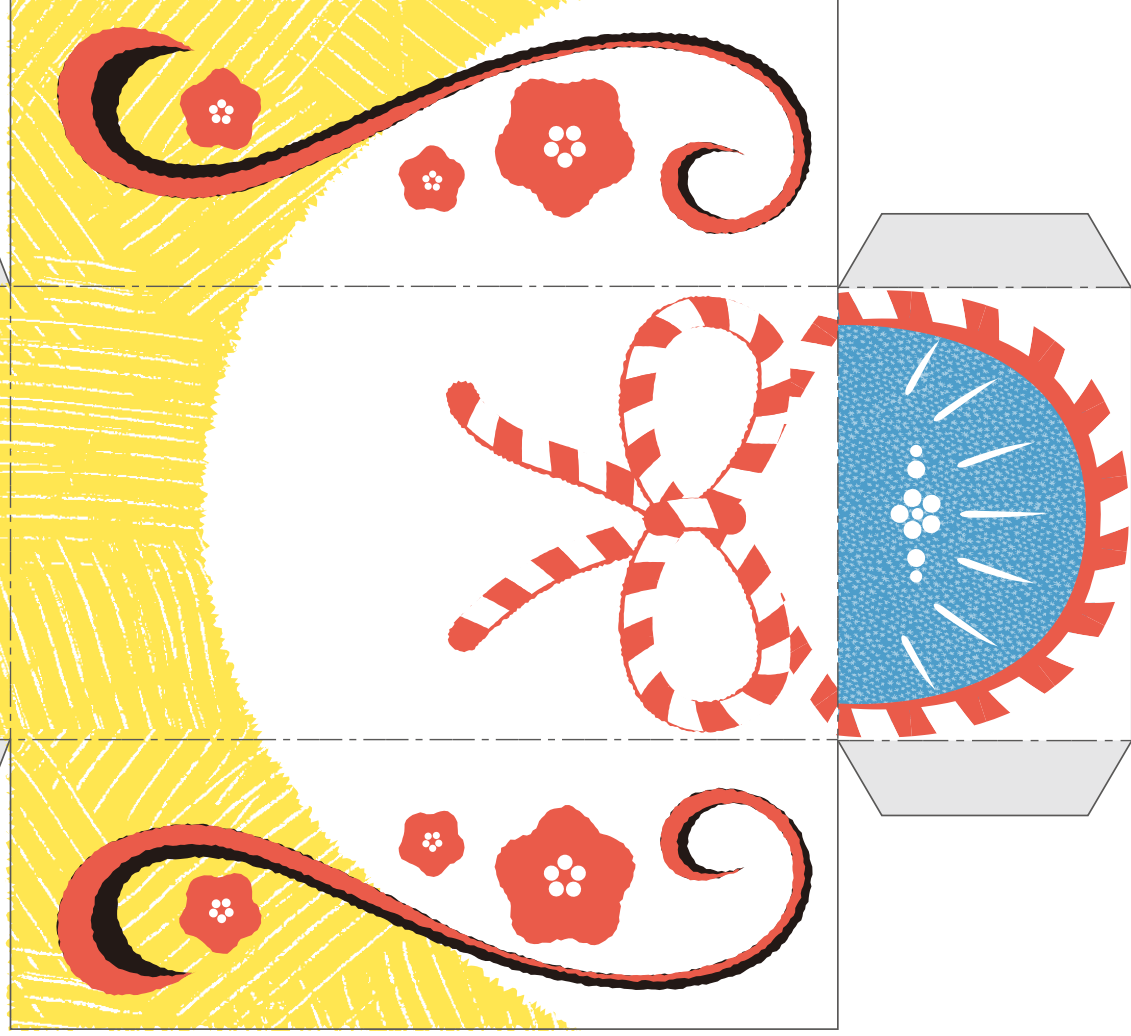
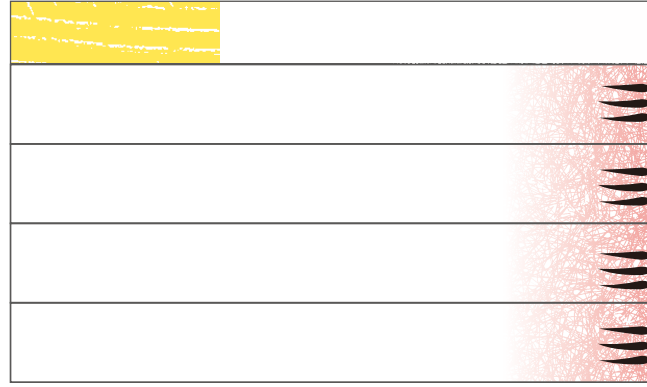
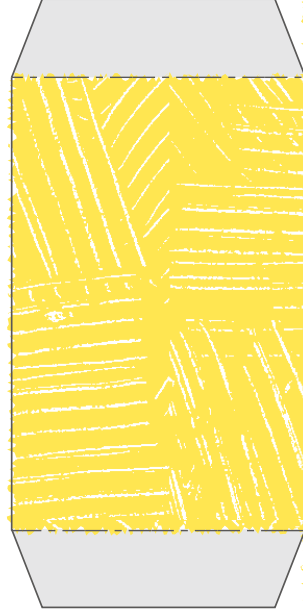
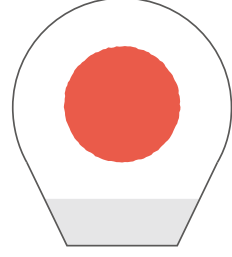
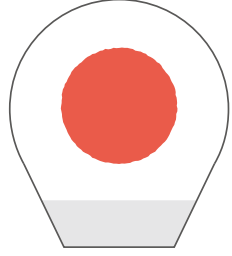
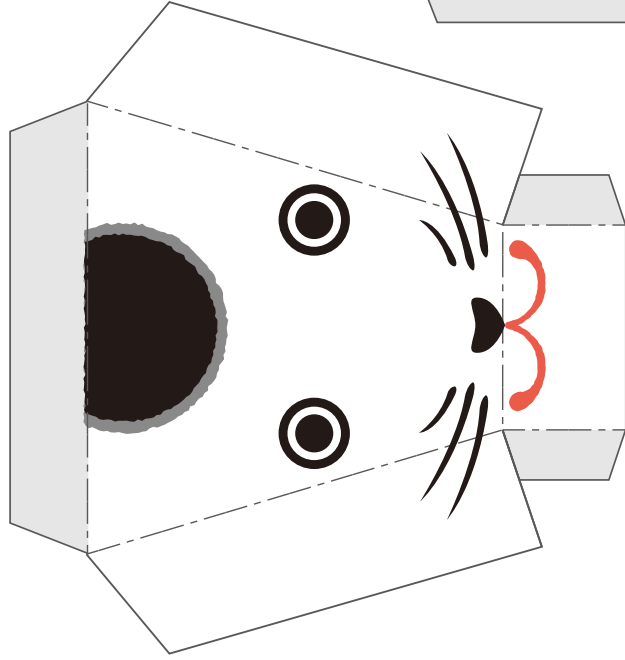
ずぼんぼがうごくのはなぜ？

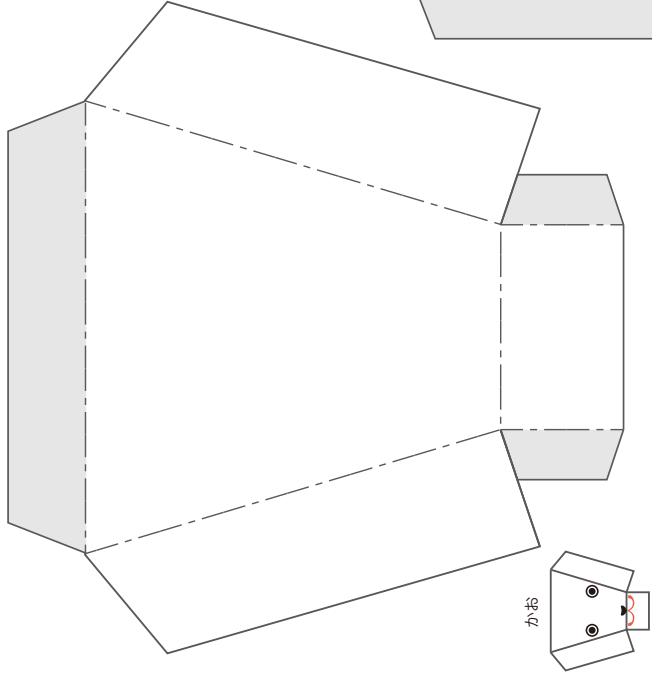
ずぼんぼをへやの角においてうちわであおぐと、ずぼんぼのからだの中に風が入ります。その風が下から上にうごくことで浮きあがります。弱くあおぐとひょこひょこうごいて、強くあおぐととんだりはねたり。どの方向にむかってあおぐとうまくうごくかためてみましょう。



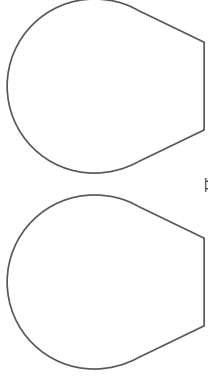
コツはからだの中に風をいれるようにあおぐことニャ!





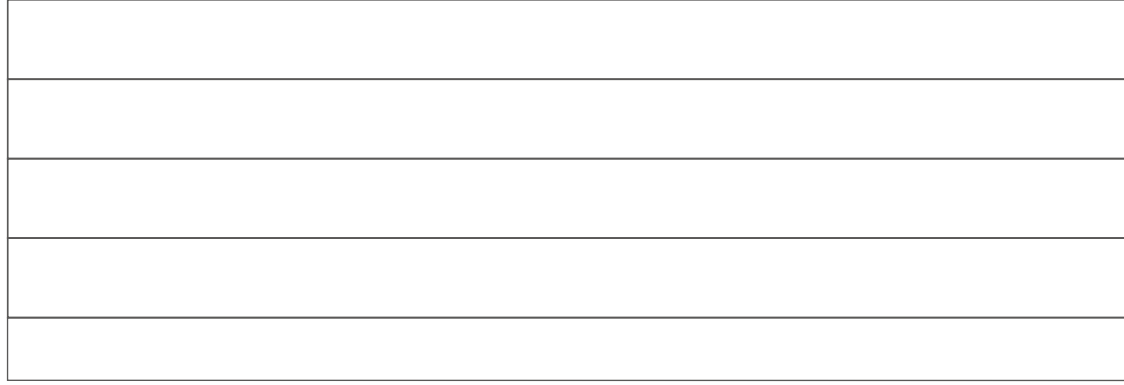
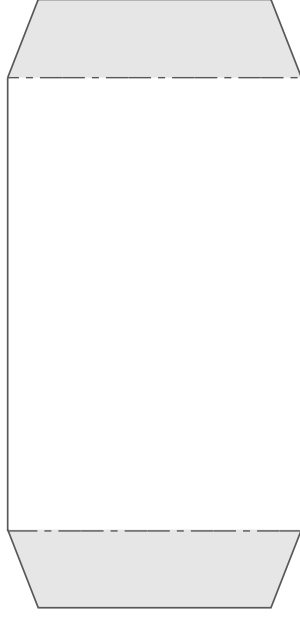


かお



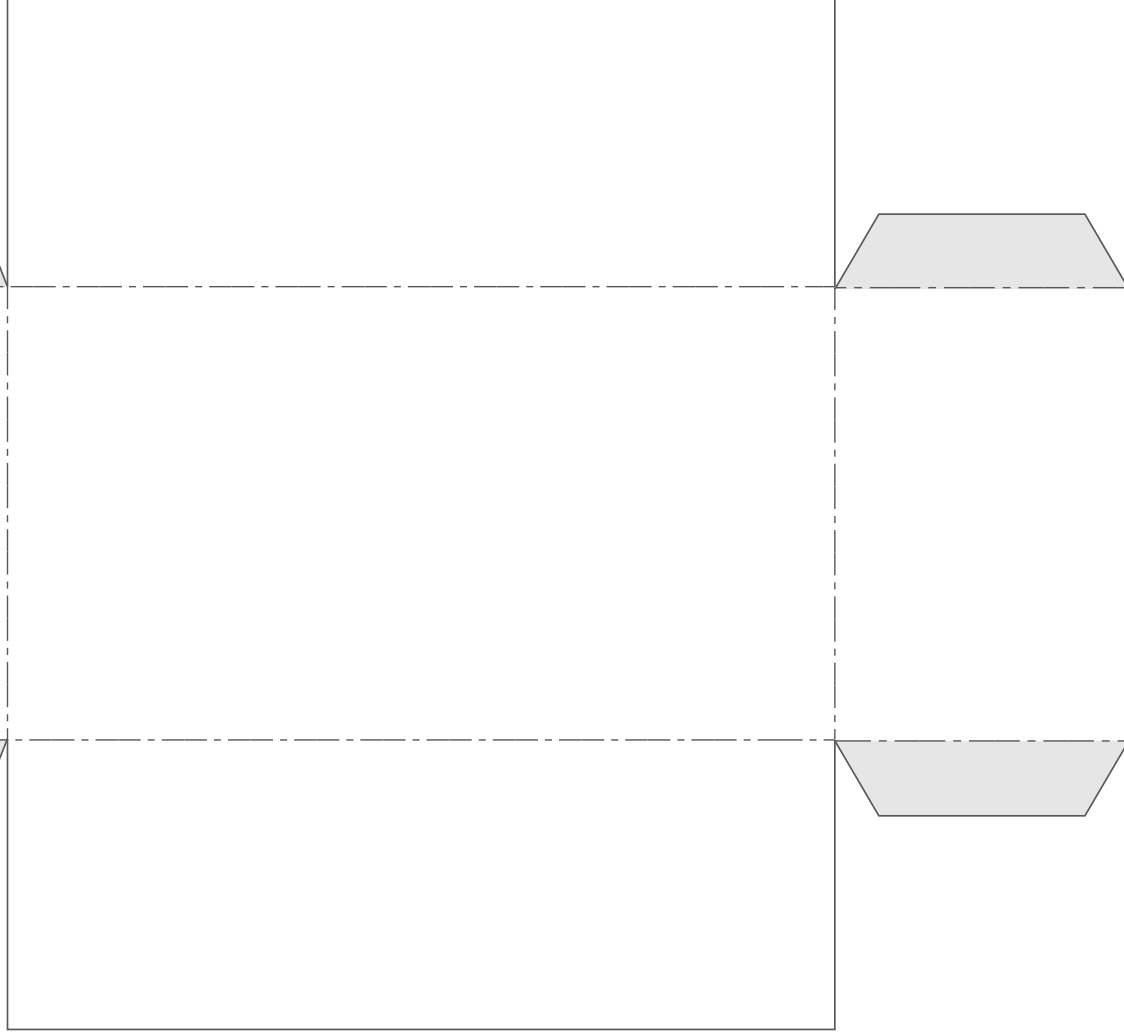
耳

(すきなかたにちぎってみよう)



足

(すきな長さでつくってみよう)



からだ

しっぽ